

## 入学相談について

参加必須

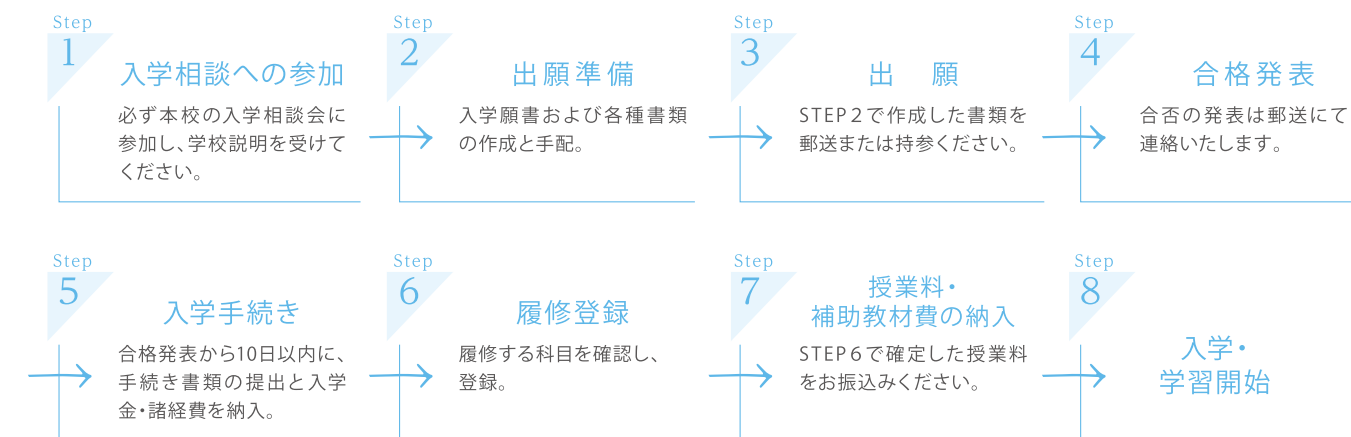
本校への新入学・編入学・転入学をご検討いただくにあたり、出願前に一度、入学希望者本人及び保護者の方に入学相談に参加いただくことを必須としています。入学相談の日時や方法については、下記の連絡先にご連絡ください。皆様のご都合に合わせてご対応いたします。

## 出願について

詳しくは募集要項をご確認ください。

### 出願から入学までの流れ

募集要項(出願書類)をご希望の方は、本校ホームページからご請求／ダウンロードいただけます。また、本校事務室窓口でもお渡ししています。



### 入学区分による 出願時期と 選抜方法

| 区分  | 入学時期              | 出願期間                               | 選考方法 |
|-----|-------------------|------------------------------------|------|
| 新入学 | 4月・10月            | 4月入学：12月1日～4月30日 10月入学：9月1日～10月31日 | 書類選考 |
| 編入学 | 4月・10月            | 4月入学：12月1日～4月30日 10月入学：9月1日～10月31日 | 書類選考 |
| 転入学 | 随時 <sup>(※)</sup> | 随時 <sup>(※)</sup>                  | 書類選考 |

※転入学の出願受付は随時受け付けますが、受入日は毎月1日を基本とします。詳細はお問い合わせください。

・転入学の場合、出願は、入学月の2週間以上前までに行ってください。入学月までの期間が短いと、入学時期のご希望に添えない場合があります。

・前籍校での休学期間は在学期間に含まれませんのでご注意ください。

・入学の時期によっては、その年次に履修できる科目(単位)数に制限を設けることがあります。ご了承ください。

#### 仙台市営地下鉄をご利用の場合

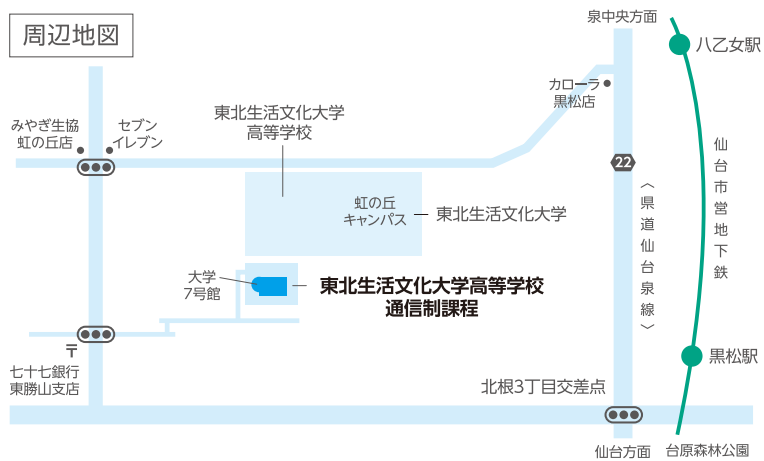
八乙女駅または黒松駅から 徒歩約25分

#### 宮城交通バスをご利用の場合

【虹の丘団地線】仙台駅前のりば4  
虹の丘団地:キャンプ場行き「虹の丘三丁目」下車

【宮城大学線】仙台駅前のりば2  
宮城大学行き「双葉ヶ丘入口」または「北根四丁目西」下車

#### 周辺地図



学校法人三島学園



東北生活文化大学高等学校 通信制課程

通信制直通

Tel 022-272-6655

高校事務室

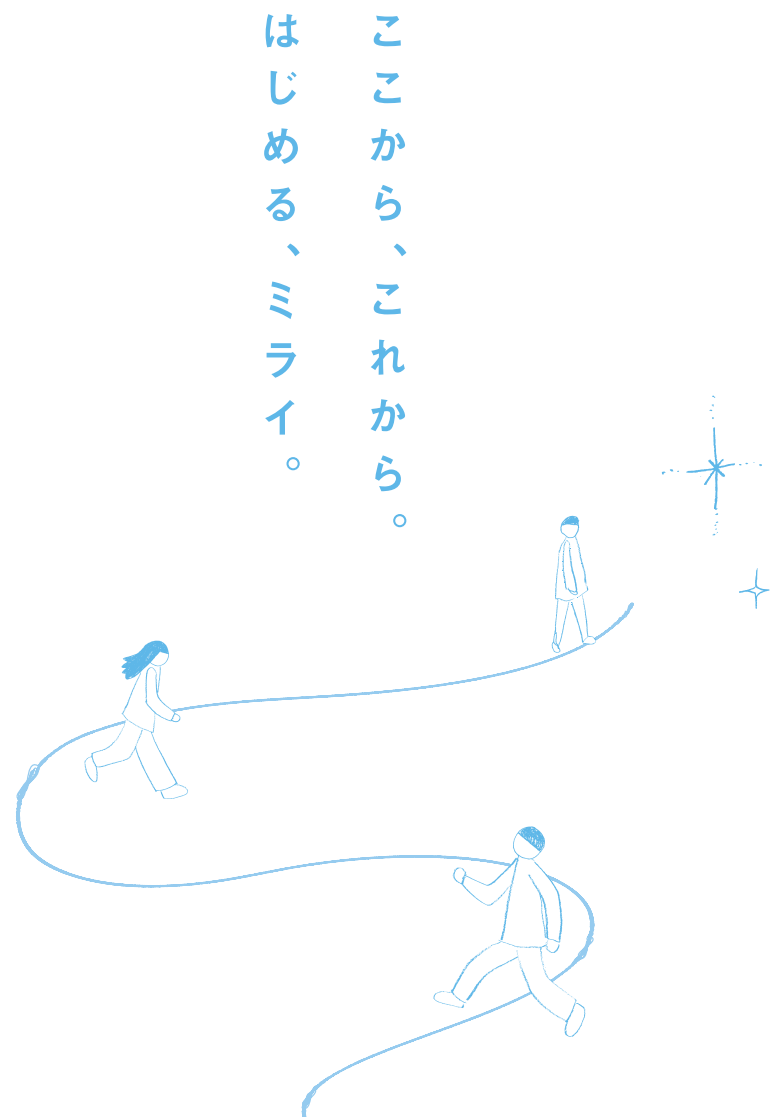
Tel 022-272-7530

〒981-0924 宮城県仙台市青葉区双葉ヶ丘2丁目9-1(大学7号館内)  
Fax 022-272-5111 E-mail tsushin@hs.mishima.ac.jp  
URL <https://www.seibun.ed.jp/tsushin>



通信制課程公式HP

# 東北生活文化大学高等学校 通信制課程 学校案内





## 小さな「できた」を積み重ねる学校。

「やりたいこと」や「自分らしさ」って何だろう。

今はまだ、わからなくてもいい。

自分のペースで、悩みながら、学びながら。

小さな「できた」を積み重ねて、少しずつ進んでいこう。

それがいつか大きな「できた」になって、あなたのミライに繋がっていく。

そんなミライを、「セイブンのツーシン」で一緒に作っていきませんか？

### ｜ 学校長挨拶 ｜

## 枠にとらわれない多様な学び 新しい「セイブンのツーシン」という選択肢

「セイブンのツーシン」は、令和7年4月にスタートし、多くの生徒がそれぞれの夢や目標に向かって自分らしく学んでいます。

「セイブンのツーシン」では、「学校へ通うこと」だけを学びの形と考えるのではなく、一人ひとりの生活環境や個性、学習スタイルに寄り添った教育を大切にしています。ICTを活用した学習システムにより、自宅など自分に合った場所で、自分のペースで繰り返し学習できる環境を整えています。また、スクーリングについても無理のない形で参加できるよう工夫し、「安心して続けられる学校」を目指しています。

学校法人三島学園は創立125年を超える歴史の中で、「実学を重んじ、個性を伸ばす」という建学の精神を受け継いできました。その伝統を礎としながら、通信制課程では時代に応じた新しい学びを積極的に取り入れています。「分かった」「できた」という小さな成功体験を積み重ねることが、自信となり、未来への大きな一歩につながると私たちは考えています。

また、学習だけでなく、学校行事や体験活動、人との出会いを通して、仲間とともに成長する機会も大切にしています。卒業後の進学や就職についても、一人ひとりの希望に寄り添いながら、教職員が最後まで責任をもって支援します。

「学び直したい」「自分のペースで高校卒業を目指したい」「新しい自分に挑戦したい」。その思いを、私たちは全力で応援します。

皆さんも「セイブンのツーシン」で自分らしく学び、自分だけの未来を切り拓いてみませんか。  
皆さんとお会いできる日を、心より楽しみにしています。

東北生活文化大学高等学校  
校長 佐々木 武弘



## セイブンのツーシンとは

自分らしくいられるから、続けられる。「セイブンのツーシン」安心の理由。



### 無理のないペースで通える 「週末スクーリング」

セイブンのツーシンのスクーリングは年間18回の日曜日開催※。合宿型や短期集中型ではなく、月2回程度の登校になるので、年間を通してリズムをつくりやすいスタイルです。平日は自習室として教室を解放しているため、登校して勉強するのもいいし、アルバイトややりたいことに時間を費やすのもアリ。自分のライフスタイルに合わせて時間を有効活用できます。

※令和8年度実績

### 静かな環境と、適度な距離感

キャンパスは青葉区双葉ヶ丘にある大学7号館。全日制高校とも別の校舎となり、落ち着いた環境で学習に取り組むことができます。教員やスタッフも生徒全員に目を配りながら、必要なサポートを必要なタイミングで提供することを心がけています。「続けられるか心配…」という不安を抱えて入学した生徒たちも、頑張って登校しています。生徒一人ひとりと先生、周囲との“ちょうどいい距離感”が、通いやすさの秘密です。

### 生徒一人ひとりに合わせた「チャレンジ」

「勉強が苦手」「人と関わるのが苦手」など、不安なことは人それぞれ。セイブンのツーシンは、教員・スタッフが生徒一人ひとりに寄り添いながらそれぞれの目標を設定し、その実現を見守っていきます。生徒たちは課題への取り組みや様々な行事・活動への参加を通じて、小さな「できた」を積み重ね、自分に自信をつけていきます。

こんな方にオススメ

- ☐ 自分とじっくり向き合いながら、自分のペースで学びたい方
- ☐ やりたいことが明確で、そこに時間を使いたい方
- ☐ 仕事やアルバイトなど、働きながら高校卒業を目指したい方
- ☐ 体調面や精神面などの理由で不登校を経験し、全日制高校での学習に不安を感じている方
- ☐ 人前に出ると緊張してしまう、大人数のクラスや集団行動が苦手な方

あなたのミライを「セイブンのツーシン」で見つけてください。

## セイブンのツーシン、5つのポイント

1

### 全日制ゆずりの 「面倒見の良い」サポート

生徒一人ひとりに合わせたサポート体制。  
学習方法や進路など、様々なギモン、不安などに  
必要な時、必要なだけ対応します。

2

### 自分のペースで 無理なく学習

メディアを活用した学習スタイルで、  
少ない登校日数での単位修得が可能。  
自分のペースで無理なく高校卒業を目指します。

3

### 学び直しのニーズにも対応

数学と英語には基礎から学べる科目を設置。  
サポート施設とも連携し、苦手科目の  
「基礎からやりたい!」ニーズに応えます。

4

### ICTの積極活用

タブレットやPCを活用した  
学習支援システムを採用。  
レポート提出や採点、出席管理も  
デジタルで行います。

5

### 三島学園のメリットを活用

高大連携事業や全日制への転籍※、  
進学時の学園内推薦入学制度など、三島学園の  
メリットを生かした様々な制度を用意しています。

※転籍には指定単位修得等の条件を満たす必要があります。



## 通信制高校とは？

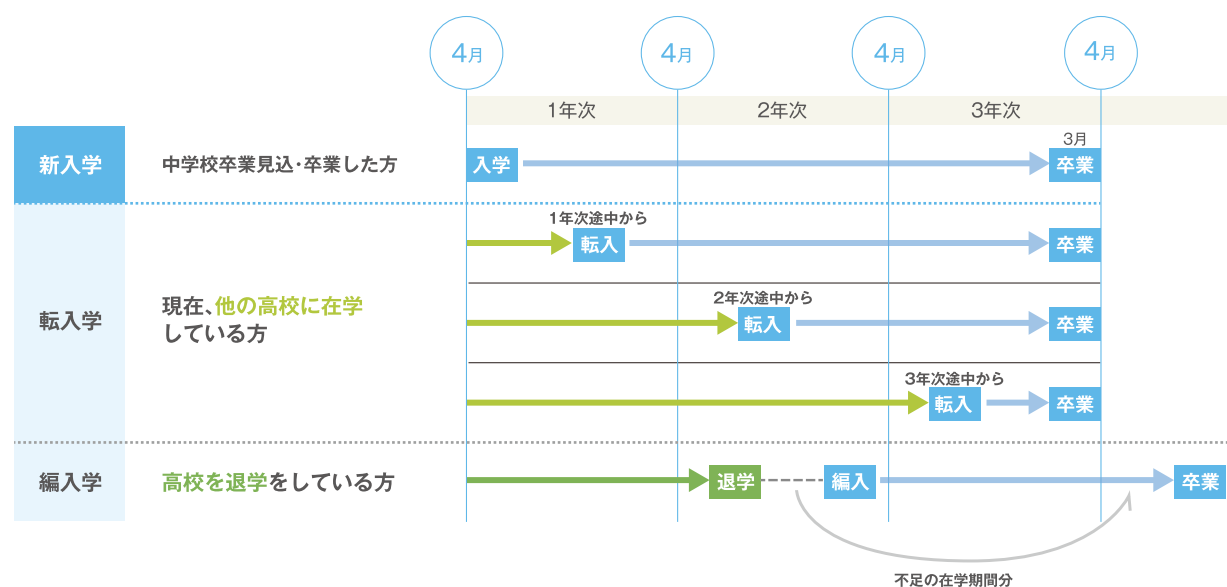
自宅でのレポート学習と年数回のスクーリング(登校)を組み合わせ、高校卒業資格を目指せる制度です。

自分の目標ややりたいことに合わせて時間を使えるため、仕事や趣味と両立したい人はもちろん、不登校の経験がある人でも無理のないペースで安心して学べます。取得できる高校卒業資格は、全日制高校と全く同じものです。

本校の通信制課程を卒業するためには、**3つの要件**を満たす必要があります。

### 要件1 高等学校の在学期間 3年以上

※転・編入学の場合、前籍校の在学期間が加算されます。



### 要件2 単位修得 合計74単位以上

※転・編入学の場合、前籍校で修得した単位が加算されます。

以下の3つをクリアすると、各科目の単位が修得できます。

| レポート<br>(添削指導＝課題)                                                                                                                   | + | スクーリング<br>(面接指導＝授業)                                                                                               | + | 単位認定試験                                                                                                                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>普段の学習の確認</b><br>基本的な学習スタイルは自学自習になります。自宅課題に取り組んで、レポートを学校に提出します。本校の教員が添削して返却をします。分からない点があっても、スクーリングで教員に直接聞く機会がありますので安心して取り組んでください。 |   | <b>登校による対面授業</b><br>実際に教員の指導や助言を受ける対面指導です。履修する科目により必要な時間数は異なりますが、学校に登校し他の生徒とコミュニケーションを取ったり、スタッフへ相談をしたりする機会にもなります。 |   | <b>学習の総まとめ</b><br>各教科の学習内容の理解度を確認する試験を年1回、年度末に行います。試験に合格することで単位が認定されます。レポート学習とスクーリングで添削を受けていれば修得できる内容になりますので、目標を持って取り組んでいきましょう。 |

### 要件3 3年間で特別活動へ30時間以上の出席

※特別活動とは、ホームルーム、学校行事など、授業以外の活動を指します。

## 興味分野、進路に合わせて 選べるカリキュラム

数学・英語には基礎科目を用意。学び直しにも対応したカリキュラムを組むことが可能です。担当の先生と相談しながら、自分の時間で行う自宅学習と計画的なスクーリングへの参加で、着実に単位修得・卒業を目指すことができます。

### カリキュラム例

※令和8年度カリキュラム例

※学び直し科目(「数学基礎」「英語基礎」の2科目)を組み入れた例

| 1年次       |     | 2年次          |     | 3年次          |     |
|-----------|-----|--------------|-----|--------------|-----|
| 科目        | 単位数 | 科目           | 単位数 | 科目           | 単位数 |
| 現代の国語     | 2   | 論理国語         | 4   | 国語表現         | 4   |
| 言語文化      | 2   | 地理探究         | 3   | 日本史探究        | 3   |
| 地理総合      | 2   | 数学Ⅰ          | 3   | 政治・経済        | 2   |
| 歴史総合      | 2   | 数学A          | 2   | 数学Ⅱ          | 4   |
| 公共        | 2   | 生物基礎         | 2   | 生物           | 4   |
| 数学基礎      | 2   | 体育B          | 2   | 体育C          | 3   |
| 科学と人間生活   | 2   | 保健           | 2   | 英語コミュニケーションⅡ | 4   |
| 体育A       | 2   | 英語コミュニケーションⅠ | 3   | 総合的な探究の時間    | 1   |
| 美術Ⅰ       | 2   | 論理・表現Ⅰ       | 2   |              |     |
| 英語基礎      | 2   | 総合的な探究の時間    | 1   |              |     |
| 家庭基礎      | 2   |              |     |              |     |
| 情報Ⅰ       | 2   |              |     |              |     |
| 総合的な探究の時間 | 1   |              |     |              |     |

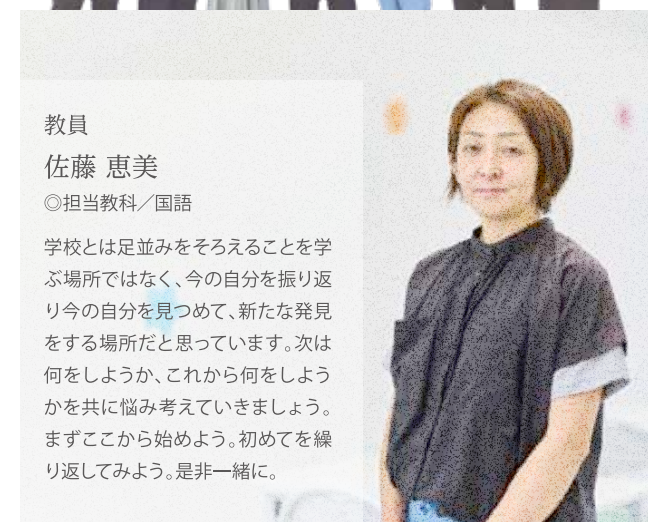
### 教員紹介

全日制高校併設のメリットを生かし、経験豊富でバラエティ豊かな教員・スタッフが皆さん一人ひとりの成長をサポートします。



教員  
小島 諒也  
◎担当教科／地歴公民

持ち前の明るさで、皆さんの学校生活を全力サポートします！今はやりたいことが決まっていなくても大丈夫。「セイブンのツーシン」で目標を見つけ、挑戦を重ねながら、自分らしく輝ける充実した高校生活を一緒に作っていきましょう！



教員  
佐藤 恵美  
◎担当教科／国語

学校とは足並みをそろえることを学ぶ場所ではなく、今の自分を振り返り今の自分を見つめて、新たな発見をする場所だと思っています。次は何をしようか、これから何をしようかを共に悩み考えていきましょう。まずここから始めよう。初めてを繰り返してみよう。是非一緒に。

## サポート体制

セイブンのツーシンでは、"全日制高校で培ったノウハウ"と"柔軟で新しい学びのスタイル"を融合し、生徒一人ひとりの学びに配慮した学習環境とサポート体制を整えています。

## 学習サポート

### 学習支援システム & マイページ

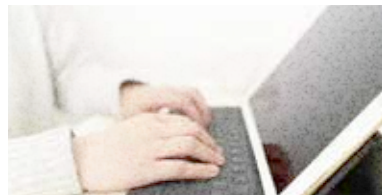
生徒がレポートの提出や課題の進捗管理、またスクーリングの時間割の確認や出席状況の確認ができる学習支援システムを導入。保護者もアクセスでき、お子さんの状況の確認や学校からのお知らせを見ることができます。



Student  
Mypage  
Lite

### メディア教材

普段の学習は自学自習が基本の通信制課程。教科書に加え、オンラインで視聴できる教科書の解説動画を各教科でご用意。普段の学習をサポートします。



## 「学びたい」キモチをバックアップ

### 自習室

スクーリングのない平日は、学校施設を自習室として開放しています。家では集中できない、仲間と一緒に勉強したい、という生徒にオススメです。勉強だけでなく、ゲームをしたり体を動かしたり、使い方は自由。常駐スタッフもいるので、勉強のアドバイスも受けられます。

### サポート施設（学習等支援施設）

宮城県内の学習塾と連携し、生徒一人ひとりの学習進度に合わせて「学び直し」や「受験対策」などのサポートを行います。中学校の内容から復習したい、普段の学習のサポートが欲しい、もっと勉強がしたい、という生徒に対して学校以外の場所で学べるように支援します。（別途費用が必要です）

## 進路サポート

全日制課程での実績から大学・専門学校への進学や就職などの進路情報を共有し、生徒の希望に応じた進路指導を行います。また、通信制単独でも外部の専門機関との連携を図り、進路講話やガイダンスの開催等を通じて生徒たちの進路意識を高める取り組みも行っています。

## ヘルスサポート / 心の教育支援

保健室では、生徒の皆さんが高校生活を安心して過ごせるように「心の教育支援」を行っています。教職員・保護者・関係機関が連携をとりながら、生徒の皆さんの心と体の健康を親身にサポートします。



## 三島学園系列の高大連携

本学園では同じ敷地内に高校・大学があり、高大間での連携・交流を図りながら様々な分野で地域に貢献できる人材育成を行っています。  
生文高から生文大に進学した場合、入学金免除や奨学金の給付など学費面の負担を軽減できる制度もあり、生徒の夢の実現をサポートしています。



## 特別活動 | ボランティア活動

〔特別活動〕

学校の中の学びだけじゃない。  
人とつながり、心動く体験を。

通信制高校での思い出づくりや、社会とのつながりをつくる「授業外での活動」。セイブンのツーシンでは、スポーツ観戦や芸術鑑賞、遠足などみんなで楽しめるイベントを特別活動として実施しています。また、地域や子どもたちとつながるボランティア活動を行うなど、様々な体験の場も用意しています。無理に参加を強制することはありません。あなたの「やってみよう」「面白そう」という気持ちを大切にしながら、社会と少しずつ「つながる」お手伝いをしています。



プロスポーツ観戦（特別活動）の様子

〔ボランティア活動例〕

ちよいワークキャンプ（主催：一般社団法人まるオフィス）

maru-office

地域とつながり、「誰かの力になれる」自分に出会う。



「ちよいワークキャンプ」は、気仙沼で子ども食堂の運営や、放課後の子どもの遊び場づくりを中心とした活動を行うボランティア活動です。いつもの学校を飛び出して、ちょっと遠くの場所へ。地域の大人や子どもたちと一緒に活動し、「ありがとう」「また来てね」と声をかけられるリアルな体験を通して、社会の中で自分の役割や居場所を実感することができます。初めての方でも温かく迎え入れてもらえる環境なので、安心して参加できます。

参加した生徒がみんな「楽しかった!」と笑顔で帰ってくる、人気のボランティア活動です。

## 施設紹介

生文高の通信制課程は青葉区双葉ヶ丘にある東北生活文化大学7号館キャンパス内にあります。自然豊かで静かな環境のもとで、落ち着いて学習をすることができます。



## 教室

広くてあかるい、開放感のある教室スペースです。スクーリングのない平日には自習室として解放しています。



## フリースペース

明るく広々としたエントランス周辺のフリースペースは休憩や昼食場所、または空き時間の自習スペースとしても開放しています。保護者の方も使用できます。



## 教室 [2F]

令和8年度には2F部分も整備。大きなスクリーンや音響設備の整った大教室の使用もできるようになりました。ガイダンスや映画鑑賞会など、特別活動でも活用しています。



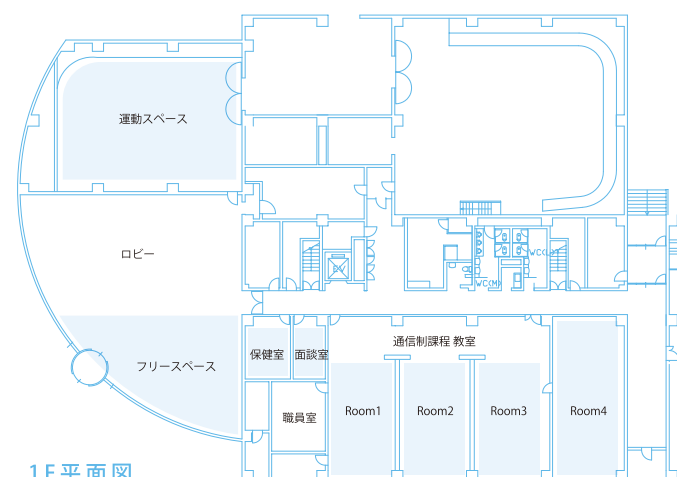
## 運動スペース

1Fエントランス横の運動スペースでは、体育の授業で使用するほか、自習室開放日には卓球やバドミントンなどを楽しめます。



## デッサンスペース

美術やイラスト制作に興味のある生徒からの要望で、デッサンスペースを設置しました。



1F 平面図



## 保健室

スクーリングの日には養護教諭が常駐しています。急な体調不良や相談事などにも対応します。



## 相談室/面談室

生徒や保護者のプライバシーに配慮し、相談や面談ができる独立したスペースを確保しています。

## 私の生活に合うスタイルを選択。



松 館 さくら さん

私は小さい頃から、周囲を気にし過ぎてしまうところがあり、そのせいか、学校で一日過ごし、家に帰るとどっと疲れてしまい、結果学校を休みがちでした。中3で進路を考えた際に、全日制高校も考えたのですが、3年間フルで通うことが難しいと感じ、自分のペースで進めることができる通信制高校への進学も視野に入れるようになりました。

セイブンのツーシンを選んだのは、個別相談の際に感じた雰囲気の良いさと、カリキュラムやスクーリングの頻度などが私にマッチしていたこと。スクーリングがほぼ無く、合宿形式で集中的にスクーリングを行う学校もありますが、それ以外に人と全く会わなくなるような生活も嫌だし、普段自分ひとりで勉強を進めることにも不安がありました。月1〜2回程度という生文高のスクーリングは、程々に人と交わることができるのでちょうど良く、家で勉強に集中できないときは週2日開放している自習室に行き、先生に分からない所を聞いたり、無駄話をしたりしながら過ごすことができるのも、自分にとっては良かったと感じています。いろんな生徒がいる中で、「○○しなければいけない」というプレッシャーが少なく、自分のペースで生活できるのがいいですね。とにかく、人との距離感が「ちょうどいい」と感じるのがセイブンのツーシンのいいところかな、と思います。家族にも、「高校生になって明るくなった」と言われます(笑)。

日曜日がスクーリングなので、平日はもちろん勉強もしますが、家事をしたり、好きな絵を描いたりして過ごしています。学校以外の場所でも社会とのつながりを持っていたいので、アルバイトも始めました。

昔から絵を描くことが好きなので、まだ漠然としてはいるのですが、将来は何かを自分の力で作り上げることができるクリエイターになりたいな、と思っています。美術の勉強を続けて、高校卒業後はそういう道に進みたいです。ちなみに、入学してから知ったのですが、生文高の全日制には美術・デザイン科があり、通信制担当の先生にも美術の先生がいるので、色々教えてもらっています。



### 〔保護者さまからのメッセージ〕 松 館 俊 介 様

中学3年で進路を決めかねている中、担任の先生からは、「まずは全日制に通ってみて駄目だったら通信制に転入するのが良いのではないか」との提案がありました。本人と相談の上、最初から通信制を選択することとし、情報収集をしていました。そんな中、生文高に通信制課程が新設されるとの情報を知りました。他校も検討したのですが、願書提出前に相談会へ参加した際の先生方の対応が良かったことや、スクーリングの曜日設定、自習室開放日があることなどが本人の希望にも合っておりセイブンのツーシンへの入学を決めました。中でもスクーリングが日曜日に設定されていることは、親の負担が軽減されて助かっています。

自習室の開放日には必ず先生方がいるので、質問をしたり話をしたり楽しい雰囲気の中で過ごすことができ充実しているように感じます。中学生時代と違って、自分のペースで学習できることで焦りや不安が消えたのか、生き生きとしている今の子どもの姿を見て安心しています。高校ではこれまで体験できなかった多くのことを学び、楽しい学校生活を送りながら成長していった欲しいと思います。

※内容は取材当時のものです

## プレッシャーから開放され、自分らしくいられる環境に。

阿 部 璃 乃 羽 さん

特にこれといった理由は今になってもよく分からないのですが、中学3年生ごろから学校に足が向かない日が増え始めました。ただ、高校は当然のように全日制を考えていて、オープンキャンパスで印象の良かった生文高の商業科に入学しました。

高校1年生のときは大好きな簿記の勉強に打ち込み、日商簿記2級や全商簿記1級を取得。大会にも出場し上位入賞を果たすなど、充実した日々を過ごしていました。

しかし2年生の時、体調を大きく崩して長期間学校を休まざるを得なくなってしまいました。その期間も勉強は続けていたのですが、「資格を取らなきゃ」「追いつかなきゃ」という焦りとプレッシャーで自分を追い詰めてしまい、欠席日数が増えるにつれて全日制に戻るイメージが持たなくなっていきました。そんな時、同じ生文高内で「通信制課程へ転籍する」という道があることを知り、転籍しました。

転籍して感じたのは、通信制課程ではやるべき課題やスクーリングの道筋が明確で、過度なプレッシャーから解放されたことです。また、通信制の先生方は相談に行けば一人ひとりにしっかり時間を割いて親身に話を聞いてくれますし、自分にとってはお世話になった全日制の先生方とも繋がりが保てるのは同じ学校ならではだと感じています。

転籍はしましたが、商業の勉強が嫌いになったわけではありません。今はもう一度好きな分野を深めるため、大学で経営学を学ぶことを目指して受験勉強に励んでいます。自分のペースで学べる環境があったからこそ、もう一度目標に向かって歩き出すことができているかな、と今は思います。



### 〔保護者さまからのメッセージ〕 阿 部 咲 枝 様

娘は全日制の頃から体調を崩しがちで、2年生の後半に通信制へ転籍しました。先生方と何度も面談を重ねての転籍なので、安心して切り替える決断ができました。

転籍後は自分のペースで勉強を進められるようになり、「毎日登校しなければ」という焦りやプレッシャーが消え、体調も次第に回復。親である私も肩の荷が下り、気持ちを落ち着かせることができました。通信制だと人との関わりが減るのでは、という心配もありましたが、学校の行事やボランティア、アルバイトにも積極的に挑戦し、勉強以外にも様々な経験ができているようです。

全日制もある生文高だからこそ、経験豊富な先生方から手厚いアドバイスをいただけるのも大きな魅力です。信頼できる先生方に見守られながら、生き生きと過ごす姿に安心しています。

※内容は取材当時のものです



## 「セイブンのツーシン、いいところは？」

平日の自習室は  
人が少なくて  
落ち着く。

先生に進路の相談も  
気軽にできるので  
ありがたい。

平日にバイトに  
集中できる  
(勉強もしてます)

先生の飼っている  
メダカがかわいい。

松島の遠足が  
楽しかった。

全日制と通信制の  
校舎が完全に  
分かれているので  
安心。

スクーリングの  
頻度が  
ちょうどいい。

イラスト好きの人が  
意外に多くて、  
趣味の話ができて  
よかった。

映画鑑賞会は  
迫力満点!

先生との  
距離感が  
ちょうどいい。

街なかから離れていて、  
人混みがないのが  
嬉しい。

フリースペースの  
居心地がいい。

保護者の方にも  
聞いてみました

- スクーリングが日曜日中心なので、送迎ができて良い。
- スクーリングが短期集中型でないで、子どもの生活リズムが作りやすい。
- 普段はあまり利用していないが、いざというとき自習室に先生がいるのは心強い。
- カリキュラムがシンプルで、料金体系もわかりやすい。
- 何かあるとしっかり話を聞いてくれる先生がいる。
- 適度な距離感で見守ってくれている感じが良い。

## セイブンのツーシン、Q&A

本校通信制課程に関する不安、不明な点について、よくいただくご質問を掲載しています。

その他の  
よくある質問は  
こちらから



### Q 入学試験はありますか？

A 学力試験、また面接の試験はありません。出願時に提出された応募書類により書類審査を行います。また、出願前に入学希望者本人と保護者に事前の入学相談を受けていただくことを必須にしています。

### Q 現在中学3年生ですが、ほとんど学校に通えていません。入学は可能ですか？

A はい、可能です。生文高の通信制課程は、全日制の学校と比べると登校(スクーリング)する日数をかなり少なくすることができ、また自分のペースで学習を進めることができるので、心や体に対する負担が少なくなると考えられます。

### Q 通信制課程の「卒業」は、全日制課程の「卒業」と違いはありますか？

A ありません。本校通信制課程の卒業資格は、全日制高校の卒業資格と同じものです。

### Q 高校卒業後の進路にはどのようなものがありますか？

A 大学・短大や専門学校等への進学、また就職など、全日制高校での進路ノウハウや実績を生かして、一人ひとりの希望に合わせた進路指導を行います。また、大学付属の高校であるメリットを生かし、「東北生活文化大学」への進学を目指すことも可能です。担任や進路担当の先生に相談しながら、進路を考えていくことができます。

### Q 自宅で一人で学習することが不安です。

A 通信教育の基本は自学自習(自分で学習を進めていくこと)なので、最初のうちはなかなか続かないこともあります。インターネットを利用した動画教材の利用やオンライン学習システムの導入により、効率的に学習を進めることが可能です。また、オンライン学習システムを通じて教師が生徒の学習の進捗を把握しておりますので、生徒の状況に応じて個別にアドバイスをしながら進めることができます。慣れないことなのでペースをつかむまで時間がかかるかもしれませんが、少しずつ着実に進めていきましょう。

### Q 勉強についていけるかが心配です。

A 数学や英語については学び直し科目として「数学基礎」「英語基礎」を用意しており、中学校の内容の復習から始めることが可能です。また、わからないところはスクーリングの際に担当教員に質問できますし、平日に教室を自習室として開放し、質問対応等、レポート作成のサポートも行っていますので、ご活用ください。

### Q スクーリングは必須ですか？

A スクーリングへの参加は単位修得の必須要件となります。スクーリングの回数や時期については科目によって異なりますので、担当教員にご確認ください。

### Q 体育など、実技中心の授業はどのように行われますか？

A 体育や美術などの科目も、他の科目同様、教科書や補助教材を活用し、レポートを提出してもらい、実技の部分はスクーリングで行います。体育が苦手な人も、個人のレベルに合わせ、基礎的な内容からはじめますのでご安心下さい。

### Q レポートはどのようなものですか？必ず提出しなければいけないか？

A レポートは学習した内容のまとめとなるもので、教科書や映像を見ながら作成するものです。科目によりレポートの提出回数は決められており、提出したレポート全てが合格点に達していないと単位認定試験を受けることができません。万一レポートが不合格の場合は再提出となりますが、担当の先生がしっかりとフィードバックしますので、それを確認しながら再度チャレンジしてください。

### Q レポートはどうやって提出するのですか？

A オンライン学習システムを使用してタブレットから提出していただけます。添削から返却までオンラインで行います(状況に応じて紙での提出になることもあります)。